

八十島 崇
やそじま たかし

元刑事ナレーター/警察監修

CONTACT

contact@yasojimatakashi.com

www.yasojimatakashi.com

〒107-0062
東京都港区南青山3-1-36
青山丸竹ビル6階
合同会社ニューヨークへ行きたいか

About Me

大阪府警察で21年、生活安全部門の刑事として、サイバー犯罪やストーカー事案、特殊詐欺、違法風俗など多くの事件捜査を担当。

退職後は外資系BIG4コンサルファームで、大手企業のサイバーセキュリティ・インシデント対応に携わる。

現在は合同会社ニューヨークへ行きたいかで、元刑事ナレーター「刑事ナレ」として番組ナレーション、ドラマ・舞台・小説の警察監修、出演を手がけるほか、Web小説『警察をつくろう！』を連載中。

研修・講演・コンサルティングは、代表を務めるデトブレイン株式会社で展開している。

EXPERIENCE

⬜ 2001 – 2022　大阪府警察（最終階級 警部補）
・生活安全部門の刑事として、サイバー捜査・ストーカー対策・特殊詐欺・風俗事件捜査を担当
・サイバー犯罪対策課でサイバー追跡・デジタルフォレンジック、他部署捜査員へのサイバー捜査指導に従事
・被疑者逮捕や捜索差押え・取調べ、重要犯罪の分析官としてプロファイリングなど現場捜査指揮

⬜ 2022 – 2025　BIG4コンサルティングファーム
・大手銀行・保険会社・証券会社のフォレンジック、セキュリティ対策、ランサムウェア被害の対応と再発防止策の策定

⬜ 2025 – 現在　デトブレイン株式会社 代表取締役CEO
・聴く技術の研修・講演、内部不正対策・経済安全保障のコンサルティング、対話AIアプリ開発

⬜ 現在　合同会社ニューヨークへ行きたいか 代表社員
・番組ナレーション、ドラマ・舞台・小説の警察監修、出演
・Web小説『警察をつくろう！』をなろう・カクヨムで連載中

SKILLS

- 中国語（元大阪府警察指定通訳員）
- 柔道参段、剣道弐段
- 専門知識を活かした内容監修つきナレーション
- 著書『元刑事×コンサルの聴く技術』（有事編・平時編）

YouTube

海外警察のボディカメラ映像などを自ら編集し、「警察密着ドキュメント」テイストのナレーション動画

YouTubeチャンネル　刑事ナレ



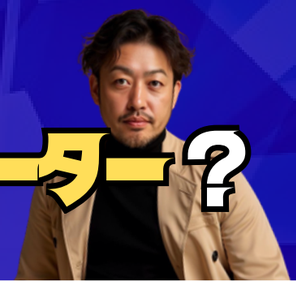


SAMPLE



是非ご覧ください

ベテラン刑事 × BIG4コンサル ＝ なんで？！ナレーター？



こんなお悩みにご対応

- ドラマ・小説の警察描写や捜査手順が合っているか不安…
- 事件・警察番組に、現場の緊迫感を出せるナレーターが欲しい
- 専門家・ナレーター・出演者を別々に手配する予算が…

声も監修も出演も、八十島崇ひとりで解決します！

01 番組ナレーション



事件・警察ドキュメントからバラエティまで、現場を知る元刑事の声で緊迫感を出します。警察・IT・法律の専門用語も正確なアクセントで読み、収録中にその場で原稿を直せるので、リテイクも減らせます。

02 作品の警察監修



ドラマ・映画・舞台・小説・漫画・ゲームの脚本や原稿を、元警部補の目でチェック。捜査手順や警察用語、所作まで指導し、作品の矛盾や炎上のリスクを未然に防ぎます。

03 ドラマ・舞台出演



元刑事の目と声で、ドラマ・舞台・バラエティ番組に出演します。刑事や警察官の役も、現場を知る者ならではの所作で。自ら脚本・演出する舞台も企画しています。

ナレーターという枠を飛び越え、警察ものの作品・番組で、最も話の早い専門家です

各種ご依頼承ります！
お気軽にご連絡ください。



ナレーター・警察監修・出演をご検討の方は、弊社担当までお気軽にご連絡ください。
研修・講演・コンサル、専門家としての出演・解説は、デトブレイン株式会社で承ります。

八十島 崇 - 合同会社ニューヨークへ行きたいか
contact@yasojimatakashi.com
www.yasojimatakashi.com



八十島 崇
やそじま たかし

元刑事ナレーター/警察監修

CONTACT

contact@yasojimatakashi.com

www.yasojimatakashi.com

〒107-0062
東京都港区南青山3-1-36
青山丸竹ビル6階
合同会社ニューヨークへ行きたいか

About Me

大阪府警察で21年、生活安全部門の刑事として、サイバー犯罪やストーカー事案、特殊詐欺、違法風俗など多くの事件捜査を担当。

退職後は外資系BIG4コンサルファームで、大手企業のサイバーセキュリティ・インシデント対応に携わる。

現在は合同会社ニューヨークへ行きたいかで、元刑事ナレーター「刑事ナレ」として番組ナレーション、ドラマ・舞台・小説の警察監修、出演を手がけるほか、Web小説『警察をつくろう！』を連載中。

研修・講演・コンサルティングは、代表を務めるデトブレイン株式会社で展開している。

EXPERIENCE

2001 – 2022
大阪府警察 - 最終階級は警部補
主な担当業務

- 生活安全部門でサイバー捜査・ストーカー対策・特殊詐欺捜査・風俗事件捜査などが専門
- サイバー追跡・デジタルフォレンジック、他部署捜査員へのサイバー捜査指導に従事
- 被疑者逮捕や捜索差押え・取調べ、重要犯罪の分析官としてプロファイリングなど現場捜査指揮
- 中国語通訳としての対応経験あり

2022 – 2025
BIG4コンサルティングファーム - サイバーセキュリティコンサル
主な担当プロジェクト

- 大手銀行依頼のフォレンジック業務
- 大手保険会社でのセキュリティ技術対策
- 大手証券会社へのランサムウェア被害インシデント対応／再発防止対策案策定

2025 – 現在
デトブレイン株式会社 - 代表取締役CEO
合同会社ニューヨークへ行きたいか - 代表社員
主な事業・活動

- （デトブレイン）聴く技術の研修・講演、内部不正対策・経済安全保障のコンサルティング
- （ニューヨークへ行きたいか）ナレーション、作品の警察監修、出演、Web小説連載

SKILLS

- 中国語（元大阪府警察指定通訳員）
- 柔道参段、剣道弐段
- 専門知識を活かした内容監修つきナレーション
- 著書『元刑事×コンサルの聴く技術』（有事編・平時編）

YouTube

海外警察のボディカメラ映像などを自ら編集し、「警察密着ドキュメント」テイストのナレーション動画

YouTubeチャンネル　刑事ナレ



https://www.youtube.com/channel/UCdIau_hT9zATIJYhakOomNg



SAMPLE

AI生成フェイク動画の架空TV番組にナレーションしました



是非ご覧ください

あると便利？！秘 警察用語集

※本資料は、地方公務員法に配意した内容になっております。警察監修可能なナレーターとして、脚本校閲や演出の「次」のご相談も承ります。現場のリアルを声と知見で支えます。詳細な裏付けが必要な際は、ぜひお気軽にご連絡ください。

索引	用語	意味・解説
ア	アカウマ	放火
	アトアシ	犯行後の犯人の足取り（後足）
イ	イチナナロク	不同意わいせつ（旧強制わいせつ）。語源は条文番号
	イチナナナナ	不同意性交等（旧強制性交等または強姦）。語源は条文番号
	１２３	照会センター（イチニッサン）
	移牒（いちょう）	受理した捜査書類を他の警察署等に送付し、処理を任せること
ウ	ウカンムリ	窃盗事件のこと。窃盗の「窃」の冠から
	うたう	犯人が犯行を自供すること
	裏取り	裏付け捜査
エ	Ｓ（エス）	内通者、スパイ
	Ｘデー	被疑者の逮捕予定日、またはガサ予定日
	Ｎ（エヌ）	Ｎシステム（自動車ナンバー自動読取装置）
オ	大部屋	所轄署刑事課の執務室（知能犯係別室を除く）
	オヤジ	警察署長（親指で表すことも）
カ	戒名（カイミョー）	捜査本部の正式名称（例：〇〇事件捜査本部）
	ガサ	捜索差押（家宅捜索）。「さがす」の逆読み
	カツミ	恐喝未遂
	ガラ	身柄、または被疑者そのもの
	ガラウケ	身柄引請、または身柄引請書のこと
	カンキ	管区機動隊
	カンク	管区警察局、または管区警察学校
キ	機捜（キソウ）	機動捜査隊
	基調	基礎調査の略。内偵捜査のことで、戸籍や住民登録、銀行口座照会捜査などを含む
	緊急執行	①発付を受けている逮捕状が手元にない場合の逮捕　②サイレン吹鳴での急行
	キンタイ	緊急逮捕
ク	首なし	犯人（持ち主）が不明のまま事件送致すること

索引	用語	意味・解説
ケ	ケーシン	警察信用組合（警視庁信用組合など一部の警察にある金融機関の略称）
	ケーデン	警察専用の電話回線
	ゲソ・ゲソコン	現場に残された足跡痕
	ケンチョー	検事調べ（検察官による取調べ）
	ゲンタイ	現行犯逮捕
	ケンメン	検察官が作成した供述調書（検面調書）
コ	ゴイチ	路上で客引きする売春婦（売防法5条1号から）
	コーカク	行動確認
	個別（コベツ）	被疑者1名のみを捜査用車両などで護送する個別護送のこと
	ゴンベン	詐欺事件のこと。詐欺の「詐」の偏から
サ	サッチョー	警察庁
	サツミ	殺人未遂
	サンズイ	贈収賄事件。汚職の「汚」の偏から
	サンビャク	大阪府警での「警察官」を指す隠語。以前は無線で3桁の番号で呼称していた
シ	集中	被疑者をバスなどでまとめて護送する集中護送のこと
	主任	警視庁では本部の警部補、大阪府警では署・本部を問わず巡査部長の敬称
	巡連	巡回連絡
	シュクセキ	宿直責任者。（トーセキ…当直責任者。都道府県警によって呼び方は様々）
	職番	職員番号
	人定（じんてい）	個人を特定する情報（住所・氏名・生年月日など）
ス	スミ	入れ墨
セ	センタイ	選挙対策本部
	占脱・占離	占有離脱物横領（いわゆる遺失物横領）
ソ	卒配（ソツハイ）	警察学校卒業後に警察署へ配属されること。またはその警察署のこと
タ	タタキ	強盗事件（「たれ込む」が語源）
	タレ	被害届（「たれ込む」が語源）

索引	用語	意味・解説
チ	地取り	現場周辺の住民への聞き込み捜査
	チャカ	拳銃（リボルバー式拳銃の撃鉄を起こす様子から）
	長さん（チョーさん）	警視庁での巡査部長の敬称。例：〇〇長さん
	調書をまく	供述調書を作成すること
	帳場（ちょうば）	捜査本部、またはその会議室
	チンコロ	密告、告げ口
ツ	ツータイ	通常逮捕（逮捕状による逮捕）
テ	デカ	捜査員、刑事（とはいえ、警察内部では実際使われていない）
ト	特練	大会に向けた選抜練習生、またはその期間
	トクリュウ	匿名・流動型犯罪グループ。SNSで集めた見知らぬ者同士の犯罪集団
	トリジョウ	取調べ状況報告書
ニ	ニンドー	任意同行の略
	ニンヒドリン	紙、木材、布などから指紋を検出するための化学薬品
ノ	ノビ	侵入窃盗の手口「忍び込み」の略
ハ	パケ	薬物を入れる透明な袋
	ハンチョー	署では警部補、本部では警部、巡査長の捜査員の敬称の場合も
ヒ	ＰＢ	交番（Police Box）
	ＰＣ	パトカー（Patrol Car）
	ＰＭ	警察官（Police Man）
	ＰＳ	警察署（Police Station）
	Ｐフォン	地域警察官が携帯するスマートフォン
フ	副さん	副署長（小指で表すことも）
ヘ	弁当持ち	執行猶予中の者
ホ	ホシ	犯人（警視庁で使用。他府県では使っていない場合が多い。）
ホ	ポリスメイト	指印（指紋採取）に使うインクの商品名。警察官の必需品だが多くは個人購入
	ポンプ	注射器

索引	用語	意味・解説
マ	マエアシ	犯行前の犯人の足取り（前足）
	的割り	特定の人物に絞って行う行動確認（主に盗犯係）
	マルガイ	被害者
	マルキ	機動隊、または機動隊員
	マルショク	警察官の食事
	マルセイ	精神疾患者（現在は公には使われていないが…）
	マルソウ	暴走族
	マルタイ	逮捕
	マルヒ	被疑者（犯人）
	マルＢ・マルＧ	ヤクザ、暴力団関係者
	マルモク	目撃者
ミ	ミタレ	被害届が出ていない（通報されていない）こと
	民逮（ミンタイ）	民間人（私人）による現行犯逮捕のこと
メ	面割り（メンワリ）	事件関係者に複数人物の顔写真を見せ、その中から選ばせて特定するなどの手法
モ	モンを振る	指紋を顕出すること（アルミ粉末を振ることから）
	モンシャ	被疑者写真の撮影と指紋採取
ヤ	ヤサ	住んでいる家のこと（刀のサヤが語源）
	宿帳（ヤドチョー）	留置人名簿
	屋根付き	建物侵入を伴う窃盗（空き巣など）の呼称。作成すべき書類が多い。
リ	リモコン	警察署の無線指令室
レ	レキ	犯罪歴
ロ	ロクロク	録音・録画による取調べ
ワ	ワッパ	手錠
	ワレる	犯人が誰か判明すること

八十島 崇
合同会社ニューヨークへ行きたいか
www.yasojimatakashi.com

元刑事ナレーターによる制作会社様向け リアリティ簡易チェックリスト

【1】 逮捕・強制捜査のリーガルチェック

- **逮捕種別の選択は適切か？：**通常逮捕（ツータイ）・緊急逮捕（キンタイ）・現行犯逮捕（ゲンタイ）の法的選択は状況と矛盾していないか。
- **「任意」の空気感の演出：**職務質問からの任意同行において、有形力行使の境界線がリアリティを損なっていないか。
- **証拠品手続きの正確性：**被疑者や参考人が自ら出す「任意提出」と、警察が強制的に押収する「捜索差押え」が混同されていないか。
- **捜索差押（ガサ）の作法：**令状の呈示から証拠品押収、目録作成までの手順に法的な矛盾はないか。

【2】 現場の専門的描写

- **「ケンシ」の使い分け：**警察官が行う「検視」、医師が行う「検死・検屍」。脚本やテロップで混同されていないか。
- **遺体発見現場のフロー：**発見直後の初動、実況見分、検証（法的な検証）の順序に無理はないか。
- **「現場検証」という言葉の回避：**メディア用語の「現場検証」ではなく、法的な「検証」や「実況見分」という言葉を台詞に反映できているか。

【3】 組織・階級の内部事情

- **捜査本部（帳場）の「実情」：**幹部と捜査員の座り位置、誰が誰を指揮しているかという「格」の描写は適切か。
- **階級と実務のミスマッチ：**警部補の実務、警部以上の統制描写が自然か。
- **キャリアとノンキャリア：**キャリアの昇任スピードや現場での利害の対立が現実的か。
- **部門の役割分担：**刑事課、生活安全課、地域課などのセクションの役割が正しく配置されているか。

【4】 演出・用語の最新リアリティ

- **被疑者と容疑者、被告人：**警察内部の会話と報道シーンでの使い分けができているか。
- **最新装備の活用：**無線、端末照会などの扱いが現実的か。
- **サイバー捜査の活用：**行き過ぎた「魔法」のような描写にならず、サイバー空間の実情に即した捜査手法になっているか。